

内科 小児科 漢方  
産科 婦人科  
浮田医院  
だより



第 83 号

医療法人 せゝらぎ会  
発行所：浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>e-mail: [kanpou@ukita.gr.jp](mailto:kanpou@ukita.gr.jp)

発行日：2009年6月5日(金)

発行者：浮田 徹也



# 漢方薬のよさ(83) 子宮内膜症VI

アジサイの美しい季節になりました。花の色は、アントシアニン、花弁の補助色素、土壌の酸性度やアルミニウム量、開花からの日数に関係し、「七変化」とも呼ばれています。一般に「土壌が酸性ならば青、アルカリ性ならば赤」と言われています。もともと「あずさい」と呼ばれ、「あず」は「集まる」、「さ」は「真」、「い」は「藍色」で、「真の藍色が集まった花」と言う意味です。昔、中国の唐の時代の詩人白居易が名付けたそうです。江戸後期に長崎に來日した医師シーボルトが、滞在中の妻「お滝さん」を偲んで「オタクサ」と名付け、祖国のドイツで紹介したのも有名な話です。日本での花言葉は、「移り気」、あじさいの花が、緑、白、青、赤紫…と開花するにつれて色変わりすることからだと思われまます。6月、



岩国城(山口県)

日本東洋医学会総会が東京で開催されます。今まで誰も使用したことの無い漢方薬が有効であった症例を報告します。また、産婦人科部門の座長を務めてきます。  
**子宮内膜症 IV**のお話です。  
せせらぎ四十四号、五十五号、六十九号の続きです。子宮内膜組織



吉益 東洞

と類似した組織が子宮外に発生し発育し、特に卵巣にチヨコレート嚢胞や血腫を形成します。月経困難症、持続的下腹部痛、性交痛、不妊症が特徴です。生殖年齢の女性の一〇%に見られ、二〇歳以後の発病が多く、年齢とともに症状が悪化します。診断は、月経困難症の症状、内診、超音波検査、MRI、腫瘍マーカー(CA-125)、腹腔鏡などを利用します。治療は、せせらぎ六十九号でも述べましたが、鎮痛剤、GnRHアナログ、ダナゾール、低用量ピル、ジェノゲスト、漢方治療、手術治療(腹腔鏡)などがあります。当院では漢方薬を中心に治療しています。  
実例に移ります。

二十六歳女性、**子宮内膜症**、月経困難症(月経痛、腰痛、排便痛)、性交痛、不妊症、便秘。顔色は両頬紅潮、腹部は硬く、両側腹直筋緊張、両側臍傍抵抗圧痛を認める。脈は沈、緊、細。舌は、暗紫紅色、薄黄苔、乾燥、舌下静脈怒張。子宮やや腫大、両側卵巣チヨコレート嚢胞(五mm)。ダグラス窩に硬結。そこで、柴胡疎肝湯(二貫堂)を処方。三ヶ月後、月経困難症軽減、





一年後、性交痛消失。二年後妊娠。無事に元気な赤ちゃんを出産。

二十二歳女性、**にきび**（十六歳より）、乾燥肌、月経痛、便秘で来院。顔色は両頬紅潮（軽度）、腹部は緊張、胸脇苦満（軽度）、臍上悸、臍傍抵抗圧痛（軽度）、脈は沈、細、弦。舌は、暗紅色、薄白黄苔、乾燥、舌下静脈軽度怒張。そこで、十味敗毒湯十四物湯十太黄を処方。三ヶ月後、ニキビ減少し始め、月経痛ほぼ消失。半年後、ニキビ消失。二年間服用後廃薬。その後、三年になるが再発していない。

三十九歳女性、**子宮筋腫**（**ハ**cm、**子**宮内腔変形（一））、貧血（血色素七%）、過多月経、月経痛、腰痛、便秘、頭痛、肩こりで来院。顔色は青白く、腹部は軟らかく、胸脇苦満、心下痞硬、臍傍に抵抗と圧痛。脈は沈、実、細。舌は、紫暗紅色、薄白苔。そこで、大柴胡湯十通導散十桂枝茯苓丸十四物湯十サフラン、鉄剤を処方。三ヶ月後、過多月経、月経痛、腰痛、便秘、頭痛など改善。六ヶ月後、鉄剤併用で貧血なくなる。一年後、三ヶ月で二週間分の鉄剤を服用。

二年後、服薬すれば体調がよく継続中。筋腫のサイズは不変。

五二歳女性、**鍼**、一五六cm、六七kg、肩こり、頭痛、右肩痛で来院。顔色良好、食欲良好。お腹は硬く、胸脇苦満、心下痞硬、両側腹直筋緊張、脈は浮、緊、実。そこで、両側天柱、肩井、肩外、右肩髃、右手三里。五分ほどで症状消失。二後再発、同部位に針、五日後再発。同部位に針。一〇日後再発、同部位に針。二週間後再発、同部位に針。その後時々針治療を継続。

二十二歳女性、**慢性的な疲労感**、軟便、冷え、肩こり。顔は両ほほ紅潮、腹は軟らかく、心下痞、臍上悸、脈は沈細数。舌は暗紅色、乾白苔。そこで、柴胡桂枝乾姜湯を処方。三ヶ月後、疲労感、肩こり、軟便改善。六ヶ月後症状消失。三年後の現在も継続中。次回、**妊娠中の浮腫**です。



〔院長〕



## に き び

にきびは座瘡とも言われ、毛孔に一致した慢性炎症性変化で脂腺性毛包が侵される。赤い丘疹、膿疱、硬結、囊腫、瘢痕が混在、しばしば脂漏を伴う。年齢（男性ホルモン）、食事（糖分、脂肪）、ストレス（試験、就職）、月経（月経痛、月経前緊張）などと関係している、漢方治療では、胃腸の強弱、月経痛、不眠、便秘、冷えなどに注意しながら、お腹、脈、舌の所見から処方を決めます。



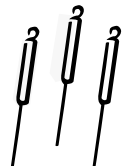
## 子 宮 筋 腫

過多月経、貧血、月経痛、不妊症、腰痛症などの原因の一つです。また、子宮体癌、子宮肉腫、卵巣腫瘍などと区別するため、超音波検査、血液・尿検査、子宮癌検査、MRI検査をします。当院では、漢方薬で子宮筋腫による症状（月経過多、月経痛、貧血）を軽くしながら経過をみています。およそ3ヶ月程度で症状が改善し始めます。患者様の中には4～6年以上も漢方薬を気長く服用され、子宮筋腫の大きさが小さくなる方もおられます。



## 鍼

中国で発達した針は「九鍼」と呼ばれたが、日本には奈良時代、仏教と共に伝わり江戸時代に急速に普及した。特に、毛のように細い毫針が最も頻用され、現在では管針法が普及している。痛み、だるさ、こり、麻痺などには、皮内や皮下に針尖が留まり持続的に刺激を加えることのできる皮内針や円皮針が有効です。当院では、管針法と円皮針をよく利用しています。



## 当院の漢方治療



### 剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。  
当院の顆粒**タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。  
漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

### 適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

### エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症 ・ 程度の病氣：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病氣、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

### 女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

### 予約－漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります(予約制、2回/月)。  
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

### 骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

### アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・ 太乙膏 ・ アガリクス
- ・メシマコブ・靈芝 ・ AHC ・ サメ軟膏

### 漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

### 健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

### 在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。  
往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。  
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

### スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

### 皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

### 処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き、処置の欄にチェックして下さい。

## 外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

## 前期と中期-母親教室

日時: 平成21年6月6日、7月4日、8月1日の各土曜日  
対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。\*ご主人様もお気軽にご参加下さい。立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前の記入をお願いします)

## 後期-母親教室

日時: 平成21年6月3日(水)、13日(土)、24日(水)、7月8日(水)、18日(土)、29日(水)、8月8日(土)  
対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

## 母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。

ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



## 吉 益 東 洞 (1703～1773)

張仲景の医学を研究したが、40歳で山脇東洋に見出されるまでは皆に認められなかった。病気はすべて一つの毒に由来し、毒のある場所によって病態の発現が異なると言う「万病一毒説」を考案した。病に薬が効く時は、必ず毒(作用の激しい薬)が腹眩(身体に起る激しい反応)を生じて病が治ると説明。後世派の補益論(元気を補う)を批判した。「万病は腹に根ざす。病を診するには必ず腹を窺う」と腹診の本を作った。書に「類聚方」「薬徴」「方極」「古書医言」などがある。



## 分娩予約

妊娠24週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カードと予約金10万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

## 漢方のお茶(清暑益気湯(せいしょえつきとう)加減)

疲労回復にもってこいのお茶です。ちよっと疲れ気味の方はお試しください。妊娠中の方も飲みください。

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)  
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)  
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)  
老人医療のページ(在宅療養の支援)  
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)  
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

## 産後相談 母乳相談 (助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

## 正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

## 里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

## 産後健診と赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

## 入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

## 産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院でお産される方に、10月より登録証を発行する予定です(妊娠5ヶ月ころ)。詳細は受付でお聞きください。